



NXP 供給者行動規範

A. はじめに

NXP は持続可能性に対し、強いコミットメントを有する会社である。NXP は当社のサプライヤーが、共有の価値観と原則に基づき、このコミットメントに参加することを奨励する。

NXPは当社のサプライヤーおよび請負業者（「サプライヤー」）との互惠関係を追求しており、適用可能な法を守り、国際的に宣言されている人権の尊重を支援し尊重するため、ステークホルダーに対して公平かつ誠実に行動するサプライヤーに仕事を与え、維持することを目指している。

NXP は、当社のサプライチェーンにおける労働状況の安全確保に努めており、労働者は尊敬と尊厳をもって扱われ、そして製造工程が環境に配慮したものであるようコミットしている。

NXPのサプライヤーは、彼らが事業を行う国の法律、規則、および規制すべてに完全に準拠した活動を行うことをコミットする。これ以外に、サプライヤーは、本書に記載されている供給者行動規範（「規範」）を遵守しなければならない。

本規範は、責任ある企業同盟（以前の電子業界 CSR アライアンス）（"RBA"）行動規範、バージョン 6.0 を具体化したものであり、NXP を含む RBA メンバー企業は、グローバルエレクトロニクスサプライチェーンの影響を受ける労働者とコミュニティの権利と幸福をサポートする。本規範はNXP行動規範（COBC）に基づいている。いくつかの箇所では、明確さを提供し、規範に対するサプライヤーの順守を評価できるように、本規範は RBA 行動規範または NXP 規範よりも詳細である。

NXP サプライヤーは本規範の要件を遵守し、自身のサプライヤーも同様に遵守させなければならない。NXP は本規範への遵守を査定するため供給者の施設を訪問（および/または外部モニターが訪問）することがある。本規範への違反は、NXP との関係の即時終了となりえる。さらに、こうした違反により訴訟を引き起こす恐れがある。

世界人権宣言（UDHR）などの認知された基準、国際労働機関（ILO）、ソーシャル・アカウンタビリティ・インターナショナル（SAI）、エシカルトレーディングインターナショナル(ETI)などの組織が発行した基準は、規範の作成の参考として使用されており、追加情報（セクション7参照）の有益な情報源となっている。NXP はコンプライアンスに対する期待を明らかにする一連の詳細な標準を維持することによって規範を拡張している。



本規範は、従業員のための権利を含む、新規の、そして追加の第三者の権利の作成を意図するものではない。



B. 労働および人権基準

NXP は、国際社会から理解されているように、労働者の人権の尊重を支持し、尊厳と尊敬をもって扱うことにコミットする。これは、臨時、移民、学生、契約、直接雇用の従業員、そしてその他のタイプの労働者を含む、すべての労働者に適用される。

労働基準は以下の通り：

1. 職業選択の事由と不本意な労働および人身売買の防止

強制労働、隔別された低賃金条件労働（負債による奴隷を含む）もしくは契約労働（年季奉公）、不随意の囚人労働、奴隷制度もしくは人身売買を使用してはならない。これは恐喝、強制、脅迫、誘拐もしくは詐欺によって行われる労働またはサービスのための人材の輸送、蔵匿、募集、移動または受け取りが含まれる。労働者が会社の提供する施設に出入りすることを不当に制限してはならないし、施設内の移動の自由を不当に制限してはならない。雇用プロセスの一環として、労働者は自国を出発する前に、雇用の期間と条件を含む、労働者が理解する言語で書かれた雇用契約書を提供されなければならない。受入れ側の国への到着時に、雇用契約書の置き換えまたは変更があってはならない。ただし、その変更が地域の法律を満たすために行われ、同等またはより良い条件を提供するものである場合を除く。

すべての労働は自発的なものでなければならず、妥当な通知を行った場合は、労働者はいつでも罰則なく自由に職場を去る、もしくは雇用を終了することができる。サプライヤーと仲介者は、法律で保管が義務付けられていない限り、政府発行の身分証明書やパスポートもしくは労働許可書などといった労働者の身分証明や入国書類を保管、もしくは破壊、隠匿、没収、もしくはそれらの書類への労働者のアクセスを禁止してはならない。労働者は雇用に関して、雇用者または仲介者の採用手数料またはその他の関連する手数料の支払を義務付けられないものとする。これらの賃金と費用は、従業員の採用、処理（雇用のための諸手配）、配置の費用が含まれるが、これらに限定されるものではない。労働者がこのような手数料を支払ったことが分かった場合は、サプライヤーは当該手数料を労働者に返金する責任を追うものとする。

2. 児童労働の回避と若年労働者

児童労働は製造のどの段階でも許可されていない。「児童」という言葉は15歳以下、つまり義務教育終了年齢以下のすべての人、もしくは任意の国の最低雇用年齢に満たない人達を指し、年齢の高いほうを採択する。すべての法律法令を遵守する合法的な職場徒弟制度プログラムは支持されている。18歳未満の労働者（若年労働者）は、夜勤および超過勤務を含む、健康および安全を損なう可能性のある労働を行わないものとする。サプライヤーは、学生の記録の適切な管理、教育パートナーの厳格で適切な配慮、および適用法および規則に基づく学生の権利の保護を通して、学生労働者の適切な管理を保証するものとする。サプライヤーはすべての学生労働者に適切な支援と訓練を提供しなければならない。地元の法律がない場合、学生労働者、インターン、お



よび見習い（実習生）への賃金は、同じもしくは似たような作業に従事しているその他のエントリーレベルの労働者と少なくとも同じ賃金レートでなければならない。

3. 労働時間

商習慣の研究では、労働者の酷使は生産性の低下、転職率の増加、怪我および病気の増加と明らかにリンクするとしている。労働時間は現地の法で定められた最大稼働日数を超えない。さらに、1週間の稼働時間は、残業も含め、緊急もしくは特別な状況下を除き、週60時間を超えてはならない。労働者は7日ごとに最低1日の予定休日を許可をとるものとし、連続して6日を超えて労働しないものとする。すべての超過労働は自発的なものでなければならない。

4. 賃金と福利

労働者に支払われる報酬は、最低賃金、超過勤務、そして法定給付にかかわるものを含む、適用可能な賃金法を遵守しなければならない。現地の法に従い、労働者には通常の時給レートより高い残業代を支払われなければならない。懲戒処分として賃金から控除することは許されない。サプライヤーは適用可能な法令法規に沿って、休息时间、休暇、休日を与えなければならない。サプライヤーは適時（すみやかに）労働者に賃金を支払わなければならない。各々の支払い期間で、労働者は行った仕事に対し正確な報酬が支払われたことを確認するための十分な情報が記載された、わかりやすい賃金明細書を適時提供されなければならない。すべての臨時、派遣およびアウトソーシング（外部委託）労働者の使用は現地の法の範囲内で行われる。

5. 人道にかなった待遇

性的嫌がらせ、性的虐待、体罰、精神的または物理的な強制、もしくは言葉による虐待を含む苛酷もしくは非人間的な扱いはない。もしくはそのような扱いの脅威はない。これらの要求を支持する懲戒方針と手続きは、明確に定義され、労働者に伝えられなければならない。

6. 不当差別禁止

サプライヤーは職場が嫌がらせや不当な差別から無縁であることをコミットしなければならない。会社は人種、肌の色、年齢、性別、性的嗜好、性同一性と性別表現、民族や国籍、障害、妊娠、宗教、政党加入、組合員、カバーされた退役軍人の地位、保護された遺伝情報、未婚・既婚の違いによって、雇用ならびに賃金、昇進、報酬、そして訓練へのアクセスといった雇用習慣において差別してはならない。労働者は宗教的な慣行のための合理的配慮を提供されなければならない。さらに、労働者もしくは潜在労働者を差別的な方法で使用することのできる医学的または物理的な試験の対象としてはならない。

7. 団結権（結社）の自由と団体交渉

地域の法律に従い、参加者はすべての労働者が各自が選択する労働組合を形成して参加する権利、集団交渉する権利、平和的な会合に関与する権利を尊重するとともに、労働者がこのような行動を避ける権利も尊重するものとする。労働者は、報復や威嚇、嫌がらせに対する恐怖を感じるこ



となく、労働条件や経営管理に関して経営陣とオープンに話し、不満を共有できなければならない。

サプライヤーは、- 法規法令、および一般的な労使関係と雇用慣行の枠組みの中で - 労働組合やその他の従業員団体によって代表される従業員の権利を尊重しなければならない。サプライヤーは、自身のためであれ、従業員団体を通じたものであれ、雇用条件に関する合意に達するための交渉に係る。

8. 多様性（ダイバーシティ）

NXP は、多様な従業員の包括的なチームを育成することにより、革新を促進し成長を加速し、チームの多様なバックグラウンド、経験、および考えが、NXP の成功にとって非常に重要であることを認識する。NXP社員採用のためにNXP によって保障されたサプライヤー（仲介者もしくは人材サーチ会社）は、それゆえ、それぞれの職位の為の多様な候補者リストを、人種、性別、年齢、その他の職位を遂行するための能力とは無関係の要素にかかることなしに、提供するためのあらゆる努力をしなければならない。これらのサプライヤーはNXPの要求に応じて、彼らの努力を文書化し、証拠をNXPに提出しなければならない。

C. 健康と安全のための基準

NXP は、仕事に関連する怪我や病気の発生率を最小限にする事に加え、安全で健康的な職場環境は製品とサービスの質や、生産の整合性、労働者の残存やモラルを向上させると認識する。NXP はまた、継続的な労働者の投入と教育は健康と安全の問題の識別と解決に不可欠だと認識している。

健康と安全のための基準は以下の通り：

1. 労働安全

潜在的な安全上の問題（例えば電気などのエネルギー源、火災、車両、および落下の危険性）へ労働者が身をさらすことは、適切な設計、工学的および管理的制御、予報保全、安全作業手順（ロックアウト/タグアウトを含む）、および継続的な安全訓練によってコントロールされる。これらの手段によって危険性が適切に制御できなかった場合、労働者はこれらの危険性に関連する適切な、手入りの行き届いた、個人的な保護装置、そしてリスクに関する教育的な資料を提供される。妊娠中/授乳中の女性を、危険度の高い労働条件から除外し、妊娠中/授乳中の女性への作業場での健康および安全リスク（職務に関連するものを含む）を排除または削減するために、妥当な手段をとる必要もある。また、授乳中の女性に妥当な設備を含めるものとする。労働者は安全性の懸念を提起することで懲戒されてはならない。また、経営陣が彼らの懸念に適切に対処するまで、報復を怒れることなく、危険な労働条件を拒否する権利を有する。



2. 非常時対策

潜在的な緊急事態と事象は、緊急報告書、従業員への通知や避難手順、労働者教育や訓練、適切な火災探知ならびに消火装置、適切な避難施設、復旧計画を含む、緊急時の計画と対応手順の履行によって識別され、評価され、それらの影響は最小化される。それらの計画と手順は、人命、環境、および財産への害を最小限に抑えることに集中しなければならない。

3. 職業性の怪我と病気（労災）

職業性の怪我と病気を防止し、管理し、追跡し、報告するための手順とシステムが適切に処される。これらには労働者の報告への奨励の提供、怪我や病気の事例の分類と記録、必要な医療の提供、事例の調査、それらの原因を排除するための是正措置の実施、そして労働者を容易に仕事に戻らせることが含まれる。

4. 産業保健

化学薬品、生物学的薬品、および物理的薬品に労働者がさらされることは、管理の階層に従って特定、評価、および管理するものとする。潜在的な危険は、適切な設計、エンジニアリング、および管理制御によって排除または管理するものとする。これらの手段によって危険性が適切に制御できなかった場合、労働者はこれらの危険性に関連する適切な、手入れの行き届いた、個人的な保護装置を提供される。保護プログラムには、これらの危険性に関連するリスクに関する教材を含むものとする。

5. 身体的な激務

労働者が晒される物理的に厳しい作業による安全上の問題 -- 手作業での材料処理や重量のある、もしくは繰り返しの持ち上げ、長時間の立ち仕事、極めて反復性の高い、もしくはきつい組立作業を含む -- が存在するかを確認し、査定し、統制されなければならない。

6. 機械の安全防護対策

生産ならびにその他の機械は、安全上の問題のために査定されなければならない。物理的なガード、インターロック、そして防壁は、機械が労働者に怪我をさせる危険性を呈した場合、提供され、適切に保全されなければならない。

7. 衛生、食糧および住居

労働者は容易にアクセスできる清潔なトイレ、飲料水、衛生的な食品調理、倉庫、そして食事施設を提供される。サプライヤーもしくは労働仲介業者から提供される従業員寮は、清潔で安全に保たれ、適切な非常口、入浴やシャワーのための湯、適切な照明、熱源と換気、個人所有物および貴重品を保管するための個別に安全性が保証された設備、妥当な個人空間ならびに理にかなった出入りの特権が提供される。

8. 健康および安全コミュニケーション



サプライヤーは労働者に対し、労働者がさらされるすべての特定された職場の危険に関して、適切な職場の健康・安全情報とトレーニングを、労働者の言語または労働者が理解できる言語で提供するものとする。これには機械的、電氣的、化学的、火災、および物理的な危険が含まれるがこれに限らない。安全性データシートをはじめとする健康と安全に関する情報、および警告は施設に明確に掲示するか、または労働者が特定できアクセスできる場所に設置するものとする。トレーニングは、作業開始前およびその後定期的に、すべての労働者に提供される。労働者は安全に関する懸念を提起することが推奨されるものとする。

9. 労働者の健康と安全委員会

サプライヤーは、継続的な健康と安全に関する教育を強化し、労働者に職場における健康と安全問題を入力することを勧めるために労働者の健康と安全委員会を立ち上げ、それを支援することが奨励される。



D. 環境のための基準

NXP は、環境責任は世界クラスの製品を生産する上で不可欠なことを認識する。製造作業において、コミュニティ、環境、そして天然資源に与える悪影響を、公衆の健康と安全を保護しながら最小化する。

環境基準は以下の通り：

1. 環境許可証/行政認可

すべての必要な環境上の許可、承認および登録は取得され、維持され、刷新される。そしてそれらの運用ならびに報告要件に従う。

2. 公害防止および資源利用削減（資源・エネルギーの有効活用）

汚染物質の排出および放出と、廃棄物の生成は、汚染管理機器の追加、生産、メンテナンス、および設備プロセスの変更などの実践、またはその他の手段によって、発生源で最小化または排除されるものとする。水、化石燃料、鉱物、および原生林製品などの天然資源の使用は、生産、メンテナンス、および設備プロセスの変更、材料の置き換え、再利用、節約、リサイクル、その他の方法によって節約するものとする。

3. 有害物質（製造工程で用いる化学物質の管理）

人または環境に危険性をもたらす化学薬品および他の材料は、識別してラベルを付け、管理することによって、取り扱い、移動、保管、使用、リサイクルまたは再利用、廃棄が安全に行われることを保証する。

4. 固形廃棄物

サプライヤーは、固形廃棄物（非有害物質）の識別、管理、削減、ならびに廃棄やリサイクルを行うための体系的なアプローチをしなければならない。

5. 空気排出

揮発性有機化学物質、エアロゾル、腐食剤、微粒子、オゾン層破壊物質および製造工程で生成された燃焼副産物の大気への排出は、排出される前に適用される法令法規の規定に従って特性を明らかにされ、モニターされ、制御され、取り扱われる。サプライヤーはその排気管理システムの性能を日常的にモニターしなければならない。

6. 資材の制限

サプライヤーは、リサイクルや廃棄のためのラベリングを含む、製品および製造における特定の物質の使用や処理を禁止または規制する適用される法令法規を遵守しなければならない。サプライヤーは、取り扱い、移動、保管、リサイクル、再利用、および廃棄が安全に行われることを保



証するため、環境に放出された場合に危害を及ぼす物質を、識別して管理するものとする。

NXP の最終製品の一部となる材料製造に従事するサプライヤー、およびNXP ブランド製品の製造に従事するサプライヤーは、NXP の責任ある製品要件を遵守するものとする。サプライヤーは、NXP の要求に従って、NXP の報告フォーマットを使用して完全な材料内容情報を NXP に提供するものとする。

7. 水管理

サプライヤーは、水源、使用、および廃棄を文書化/特徴付け/モニターし、水を節約する機会を求め、汚染のチャンネルを管理する、水管理プログラムを実装するものとする。すべての廃水は、排出または廃棄される前に、適用される法令法規の規定に従って特性を明らかにされ、モニターされ、制御され、処理されるものとする。参加者はその廃水処理システムの性能を日常的にモニターしなければならない。サプライヤーは NXP の要求に従い、CDP ウォーター開示および/または RBA 環境報告に参加するものとする。

8. エネルギー消費および温室効果ガスの排出

エネルギー消費およびすべての関係するスコープ 1 および 2 の温室効果ガスの排出は施設および/または会社ベースで追跡され、文書化される。サプライヤーはエネルギー効率を改善し、エネルギー消費量と温室効果ガスの排出量を最小限に抑えるためのコスト効果の高いメソッドを探す。サプライヤーは NXP の要求に従い、CDP サプライチェーン開示および/または RBA 環境報告に参加するものとする。

9. 認証

NXP ブランド製品の一部となる材料の製造または提供に関与するサプライヤーは、ISO14001 認証（または同等のもの）を取得しているか、認証取得を計画しているものとする。あるいは、材料を供給する業者は文書化された運用環境管理システムの客観的証拠を提供し、同等性を示さなければならない。



E. ビジネス（企業）倫理基準

サプライヤーは、労働者、仕入れ業者、および顧客を扱うときに、最高水準の倫理的な行動にコミットしなければならない。

1. ビジネスの公平性

最高水準の公平性をすべてのビジネス活動で維持する。サプライヤーは、あらゆる形のわいろ、汚職、強要、着服を禁止するために、ゼロ容認ポリシーを持つものとする。

2. 不適切な利益の禁止

わいろやその他の不適當あるいは不適切な利益を約束、提供、認可、贈答、受領してはならない。本禁止事項は、直接であるか間接であるかを問わず、事業を獲得または維持する、他社に事業を指示する、その他不適切な利益を得る目的で、第三者との間で金品の約束、提供、認可、贈答、受領を行うことに適用される。腐敗防止法の遵守を確保するため、モニタリングおよび実施手続きが行われなければならない。

3. 情報公開

すべてのビジネス取引は透過的に行われ、サプライヤーの業務に関する帳簿や記録に正確に反映されなければならない。労働、健康、安全、環境活動、事業活動、構造、経営状況、業績に関する情報は有効な法規と一般的な業界の慣習に従って公開される。

記録の改ざんまたは条件、サプライチェーンにおける実施や条件に関する虚偽の陳述は容認されない。

4. 知的財産

知的財産権は尊重されるものとし、技術およびノウハウの移譲は、知的財産権を保護する方法で行われるものとする。顧客およびサプライヤーの情報は保護される。

5. 公正な事業、広告、競争

公正な事業、広告、競争の基準が維持される。

6. 個人の保護と報復の禁止

サプライヤーは、機密性、匿名性、内部告発を行ったサプライヤーと従業員の保護を保証するプログラムを、法に禁止されない限り維持するものとする。サプライヤーは、善意から内部告発に参加した労働者、または NXP サプライヤー行動規範に違反する命令を拒否した労働者に対する報復を禁止するものとする。サプライヤーは、労働者が現地の法律と規則に従って職場に抗議を提出するための匿名による告発体系を提供するものとする。サプライヤーは、すべての従業員が報復の禁止という方針を通知され、理解することを保証する公式の伝達プログラムをもつものと



する。

7. 鉱物の責任ある外部調達

サプライヤーは、製造する製品に使用されている鉱物が直接または間接的に、武装グループの資金源または利益となっておらず、また、紛争地域またはハイリスク地域の深刻な人権侵害に寄与していないことを合理的に保証するため、ポリシーを持つものとする。サプライヤーは、これらの鉱物の供給と加工、流通過程の管理に相当の配慮を行うものとし、また、要求に応じて、その配慮方法をNXPの利用可能な状態にしておくものとする。

8. プライバシー

サプライヤーは、サプライヤー、顧客、消費者、従業員を含め、ともに事業を行っているすべての者の個人情報のための、合理的なプライバシーの可能性を保護することを誓うものとする。サプライヤーは、個人情報を収集、保管、処理、伝達、共有する場合には、プライバシーと情報の安全に関する法律および法的な要件に従う。



F. 管理システムの基準

サプライヤーは、本規約の内容に関連した管理システムを採用または成立させるものとする。管理システムは、次の事項を保証するように設計されること。(a) 有効な法律、規則、供給者の活動と製品に関連した顧客の要件を順守すること。(b) 本規約に従うこと。および(c) 本人確認と本規約に関連した運用リスクの緩和。管理システムは、継続的な改善を促進するものとする。

管理システムは、次の要素を含むものとする。

1. 会社の貢献

サプライヤーは、サプライヤーの順守と継続的な改善への貢献を保証し、経営責任者によって署名され、すべての従業員に理解できる現地言語（必要に応じて複数の言語で）で公示された、企業の社会的および環境責任方針声明を行うものとする。

2. 経営責任と義務

サプライヤーは、上級管理者と管理システムと関連プログラムの実施を保証することに責任をもっている会社の代表者を明確に認定するものとする。上級管理者は、管理システムの状態を定期的に調査する。

3. 法律およびNXPの要件

サプライヤーは、本規約の要件を含む、有効な法律、規則、顧客の要件を認定、モニター、理解する方法をもつものとする。

4. リスク評価とリスク管理

サプライヤーは、サプライヤーの作業に関する法令順守、環境、健康、安全性、労働慣習、倫理のリスクを認定する方法をもつものとする。サプライヤーは、それぞれのリスクに関して相対的な重要性を判断し、適切な手続き上および物理的な管理を実施してい、特定されたリスクを管理し、規則に順守していることを保証するものとする。

5. 改善目標

サプライヤーは、ここに挙げる目標を達成する上での供給者の業績を定期的に審査することを含む、サプライヤーの社会的および環境業績を改善するためにの書面の業績目標、達成目標、実施計画をもつものとする。

6. トレーニングと能力

サプライヤーは、サプライヤーの方針、手順、改善目標を実施し、有効な法律と規則の要件を満たすように、管理者と労働者に研修を行うプログラムをもつものとする。



7. 伝達

サプライヤーは、サプライヤーの方針、慣習、予測、業績に関する明確で正確な情報を労働者、供給者、顧客に伝達するための方法をもつものとする。

8. 労働者のフィードバック、参与と苦情

サプライヤーは、従業員の本規範で扱われる慣習と条件に関する理解を評価し、そのフィードバックまたは違反のフィードバックを得て、継続的な向上を促進するため、有効な苦情報告メカニズムを含む継続的なプロセスをもつものとする。



9. 監査および評価

サプライヤーは、社会的および環境責任に関する法律と規則の要件、本規約の内容、顧客の契約要件に順守していることを保証するための自己評価を定期的に行うものとする。

10. 修正措置プロセス

サプライヤーは、内部および外部の審査、点検、取調べ、調査によって認定された欠陥を時宜にかなって修正するためのプロセスをもつものとする。

11. 書類の提出と記録

サプライヤーは、プライバシーを保護する適切な機密性に加え、規則への順守と要件に対する一致を保証するために、書類と記録を作成し、維持するものとする。

12. サプライヤーの責任

サプライヤーは、NXP サプライヤー行動規範もしくはそれに相当するものの要件を自身と次の段階の供給者に伝達し、供給者が要件に順守していることを監視するプロセスを持つものとする。



G. 文書情報

1. 参照

次の基準は、本規約を作成する際に用いられたものであり、追加情報を得る上で有益と思われる出典である。

- ドッド=フランク・ウォール街改革・消費者保護法
<http://www.sec.gov/about/laws/wallstreetreform-cpa.pdf>
- 環境管理・環境監査スキーム
www.quality.co.uk/emas.htm
- 倫理的貿易の率先
www.ethicaltrade.org/
- 安全衛生のための ILO 行動規範
www.ilo.org/public/english/protection/safework/cops/english/download/e000013.pdf
- ILO 国際労働基準
www.ilo.org/public/english/standards/norm/whatare/fundam/index.htm
- ISO 14001
www.iso.org
- 全米防火協会
www.nfpa.org/catalog/home/AboutNFPA/index.asp
- OECD Due Diligence Guidance for Responsible Supply Chains of Minerals from Conflict-Affected and High Risk Areas (紛争地域およびハイリスク地域からの鉱物の責任あるサプライチェーンに関する OECD デューデリジェンスガイド)
www.oecd.org/corporate/mne/mining.htm
- OECD 多国籍企業行動指針
www.oecd.org/mne/
- OHSAS 18001
www.bsigroup.com/en-GB/ohsas-18001-occupational-health-and-safety/
- 責任ある企業同盟 (以前の電子業界 CSR アライアンス) ("RBA") 行動規範
<http://www.responsiblebusiness.org/>
- SA 8000
www.cepaa.org
- Social Accountability International (SAI)
www.sa-intl.org
- 世界人権宣言
www.un.org/Overview/rights.html
- 国際連合腐敗防止条約
www.unodc.org/unodc/en/treaties/CAC/
- 国連グローバル・コンパクト



- www.unglobalcompact.org
合衆国連邦調達規則
www.acquisition.gov/far/



2. 改訂履歷